

# Indicators Update

2013年7月30日 全4頁

## 6月雇用統計

失業率は改善も就業者数は減少

経済調査部  
エコノミスト 久後 翔太郎

### [要約]

- 2013年6月の完全失業率(季節調整値)は3.9%となり、前月から0.2%pt改善した。就業者数は前月から1万人の減少、失業者数は16万人の減少、非労働力人口は16万人の増加となった。6月の有効求人倍率(季節調整値)は0.92倍となり前月から0.02pt上昇した。内訳を見ると、有効求職者数は2ヶ月ぶりに前月から減少、有効求人数は9ヶ月連続の増加となった。
- 就業者数(季節調整値)は、前月差▲1万人と3ヶ月ぶりの減少となった。ただし、3ヶ月移動平均値で見ると6ヶ月連続で増加しており、均してみれば増加基調が続いている。
- 先行きについては、就業者数の増加基調が続く見通しである。製造業については、足下で上向いている生産の影響を受け、徐々に就業者数が増加すると予想している。加えて、新規求人数が増加基調となっている卸売業・小売業でも就業者数の増加が続くことが期待される。さらに、補正予算の執行に伴う公共投資の増加も就業者数を支える要因となろう。

図表1：雇用関連指標の推移

		2013 3月	4月	5月	6月	出所
完全失業率(季節調整値)	%	4.1	4.1	4.1	3.9	総務省
有効求人倍率(季節調整値)	倍	0.86	0.89	0.90	0.92	厚生労働省
新規求人倍率(季節調整値)	倍	1.39	1.40	1.42	1.49	
名目賃金指数	現金給与総額	前年比、%	▲0.9	0.0	▲0.1	
	所定内給与	前年比、%	▲0.9	▲0.2	▲0.4	
労働時間指数	総労働時間	前年比、%	▲3.6	0.1	0.3	
	所定内労働時間	前年比、%	▲3.9	0.0	0.3	
	所定外労働時間	前年比、%	▲1.9	0.9	0.0	

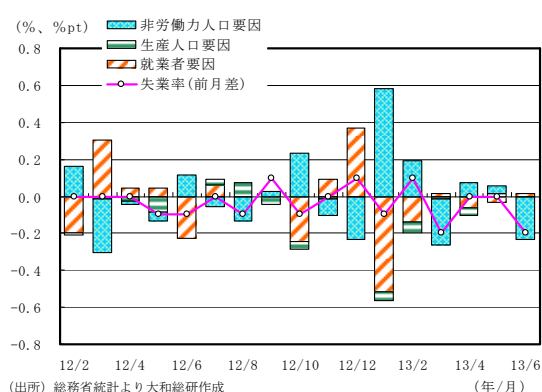
(出所)各種統計より大和総研作成

## 6月完全失業率：前月から0.2%pt改善も就業者数は減少

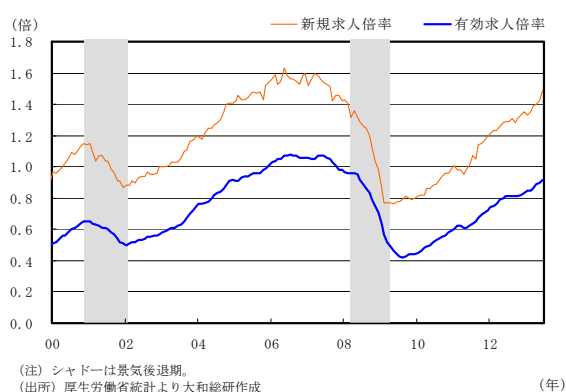
2013年6月の完全失業率(季節調整値)は3.9%となり、前月から0.2%pt改善した。就業者数は前月から1万人の減少、失業者数は16万人の減少、非労働力人口は16万人の増加となった。

6月の有効求人倍率(季節調整値)は0.92倍となり前月から0.02pt上昇した。内訳を見ると、有効求職者数は2ヶ月ぶりに前月から減少、有効求人数は9ヶ月連続の増加となった。有効求人倍率に先行する新規求人倍率は1.49倍となり、前月から0.07pt上昇した。内訳を見ると、新規求人数は2ヶ月連続の増加、新規求職申込件数は2ヶ月ぶりの減少となった。

図表 2-1：失業率の要因分解

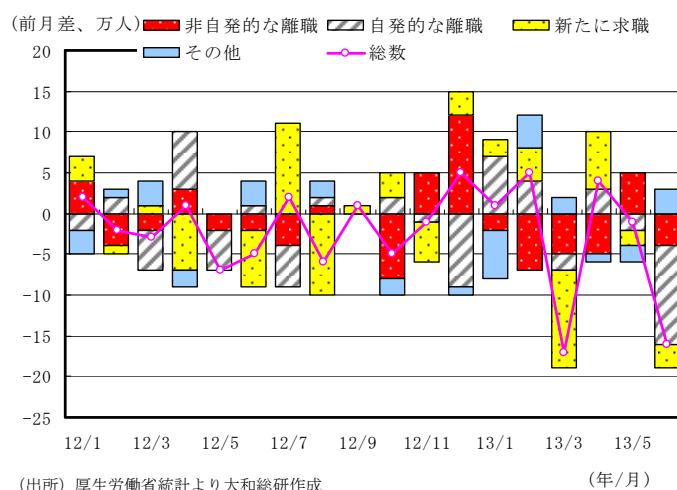


図表 2-2：有効求人倍率と新規求人倍率



今月の失業率低下の要因は主に非労働力人口の増加によるものである。失業者数は前月から大幅に減少したものの、就業者数の増加には至らず、非労働力人口の増加が失業者数の増加分を概ね吸収する形となった。そのため、ヘッドラインの改善程、内容は良くない。ただし、失業者数の減少を求職理由別に見ると、「非自発的な離職」による失業者が減少しており、企業部門に起因する失業は減少傾向にある。また、新規求人数、有効求人数とも増加が続いており、企業の労働需要が高まっていると考えられる。結論として、6月の雇用関連統計を総じて見ると、雇用情勢は改善が続いていると判断する。

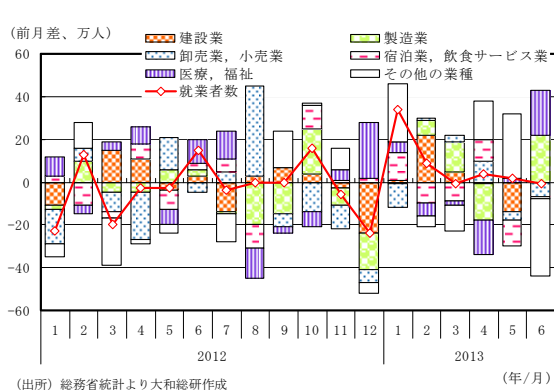
図表 3：求職理由別失業者数の推移



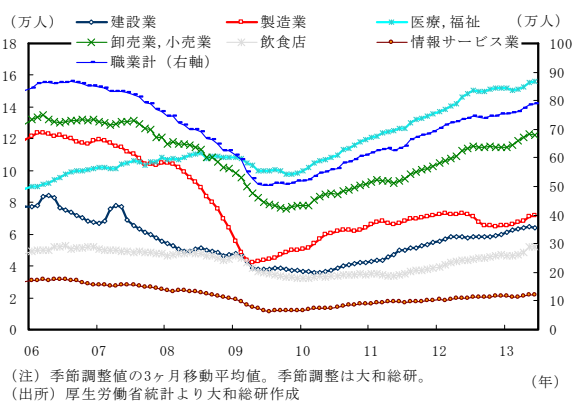
## 業種別の動向：製造業の就業者数が大幅増となったが全体では減少

就業者数(季節調整値)は、前月差▲1万人と3ヶ月ぶりの減少となった。ただし、3ヶ月移動平均値で見ると6ヶ月連続で増加しており、均してみれば増加基調が続いている。内訳を見ると、「製造業」では前月差+22万人と大幅に就業者数が増加した。堅調な内需や円安を追い風に企業収益が改善していることを背景に、製造業では雇用過剰感が解消に向かい、労働需要が高まっている模様。趨勢的に就業者数の増加が続く「医療、福祉」でも、前月差+21万人の増加となった。また、「学術研究、専門・技術サービス業」では、前月差+4万人と3ヶ月連続の増加となった。2012年度補正予算の執行を受けて、建設コンサルタントや測量などの業種で労働需要が高まった模様。一方で、「金融業、保険業」では前月差▲9万人、「運輸業、郵便業」では同▲8万人、「卸売業、小売業」では同▲7万人とそれぞれ減少し、全体を押し下げた。

図表 4-1：業種別就業者数



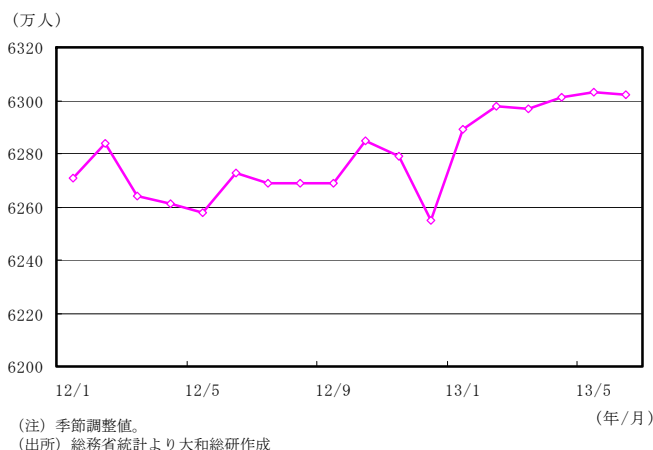
図表 4-2：業種別新規求人数



## 就業者数の先行き：増加基調が継続する見込み

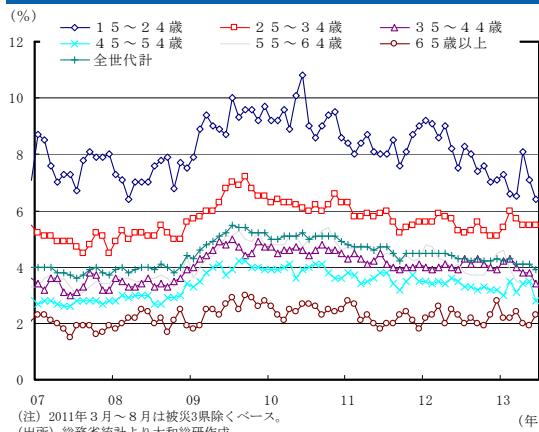
先行きについても、就業者数の増加基調は継続する見込みである。製造業については、足下で上向いている生産の影響を受け、徐々に就業者数が増加すると予想している。加えて、新規求人数の増加ペースが強まっている卸売業・小売業でも就業者数の増加が継続することが期待される。さらに、補正予算の執行に伴う公共投資の増加も就業者数を支える要因となろう。

図表 5：就業者数の推移

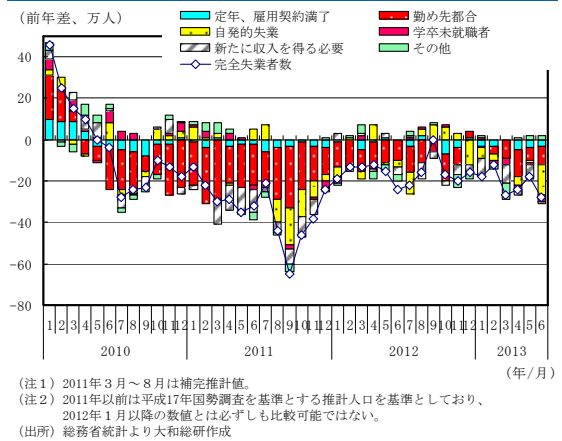


雇用・所得概況

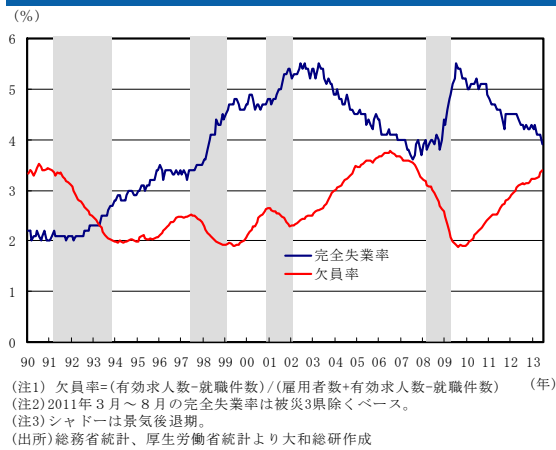
世代別完全失業率



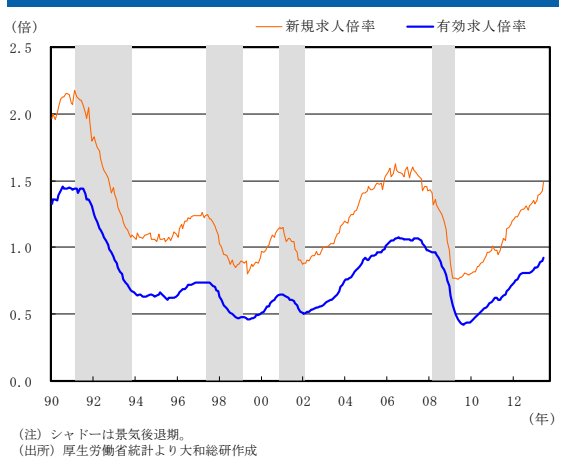
求職理由別失業者数



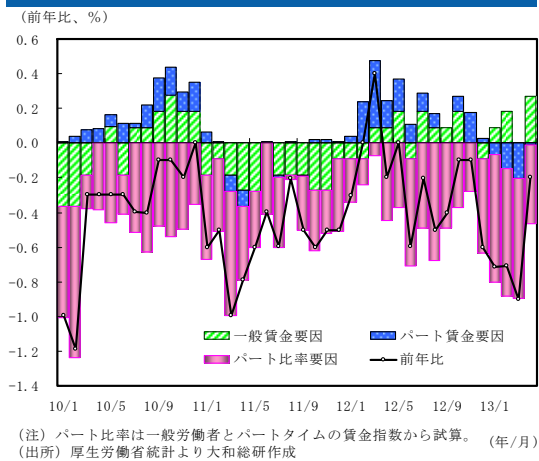
完全失業率と欠員率



有効求人倍率と新規求人倍率



所定内給与の要因分解 (5人以上、全規模)



所定内給与の推移 (5人以上、全規模)

